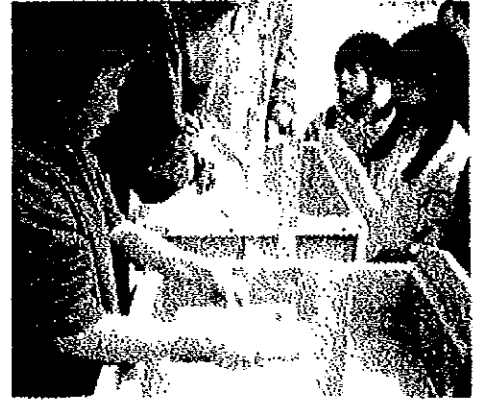


# コミュニティ広場

まちづくり生活環境部会

環境創生21プラン  
ケナフ収穫祭

須々石地区まちづくり推進協議会、ケナフ実行委員会の主催で昨年11月26日(日)ふれあいの森にてケナフ収穫祭が開催されました。みどり連合会の皆さんや阿東町嘉年地区「ケナフの里」の皆さん、久米の家村さんご夫妻、そのほかたくさんの方々の御支援のおかげで収穫したケナフを使った紙すきや機織り、蒸しパンなど様々な体験をすることができました。またこの収穫祭には総合学習の一環として春からケナフの栽培に取り組んできた沼城小学校の4年生や先生方も参加して、学校でのハガキ作りに備えるその工程や要領などを熱心に学びました。このたびのケナフ



収穫祭開催にあたり、釜・紙すき桶、除水と乾燥に使う掃除機とアイロンなど必要な資材を購入しました。これらは今後の活動にも引き続き使用する予定です。御協力ありがとうございました。

まちづくり地域福祉部会

- ・須々石地区内のバス停9ヶ所に 地元企業より寄附をいただきイスを設置しました。皆さんどうぞ御利用ください。
- ・中学校で取り組まれているプラダ回収に 地域を応援しようと さっそく北高家庭クラブからたくさんのお力をいただきました。また公民館にもプラダ回収箱をおきますので 皆様の御協力をお願いします。

まちづくり情報調査部会

住民アンケートについて

昨年末には お忙しい中 住民アンケートに御協力をいただき本当にありがとうございました。すみよまちづくりのために貴重な御意見、御要望もいただきました。現在、集計、整理中ですが よりよい地域づくりに活かしていきたいと思っております。

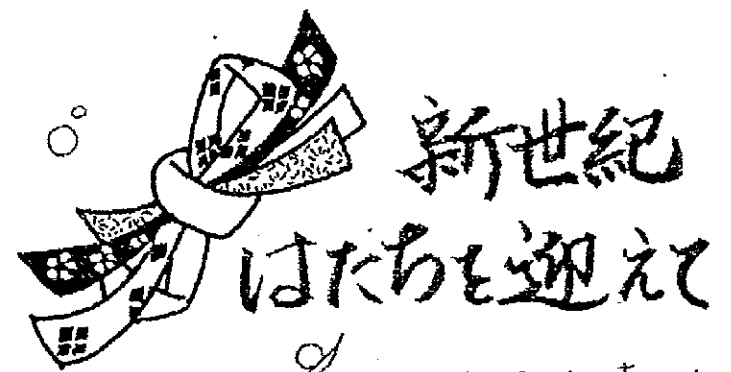
広報部

「地区によりすすま」が県公民館報コンクール手書きの部で優秀賞をいただきました。

大好評  
でした!

- 平成年十二年度 徳山市生きいき人生シルバー選奨事業
- 【生きがいづくり部門】  
山崎 マサエ(井手下) 高齢者の生きがいづくり活動の推進
- 【伝承部門】  
木村 勉 (東殿木原) 地域伝統芸能の保存伝承活動
- 平成十二年度 徳山市社会教育功労者  
藤井 孝子 (下午の毛) 婦人会活動

受彰おめでとうございます



「祝成人」といってもあまり実感はないが、社会的には大きく変化し、今以上に責任が問われると思う。こんな時代の中で自分の夢や目標を現実にするということは何となく困難な事ではあるが、決して妥協せず、少しでも自分の目標に近づけるように頑張りたい。またこの機会に、少しでも育ててくれた両親、そして友人に改めて感謝したい。

（西殿木原 三芳 公一さん）

二十一世紀最初の成人となる私達。だれが見ても恥ずかしくない常識ある行動をとる。それが新成人のこれからすべきことの「ひとつ」だと私は思います。四月から社会人一年生となりますが、思いやりの心を持ち、自分自身に責任を持ち、毎日毎日一生懸命過して行きたいです。

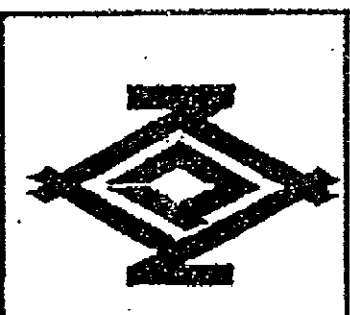
（東殿木原 伊藤 若菜さん）

須々石地区子ども会育成連絡協議会 主催  
養子会

## 新春風揚げ大会

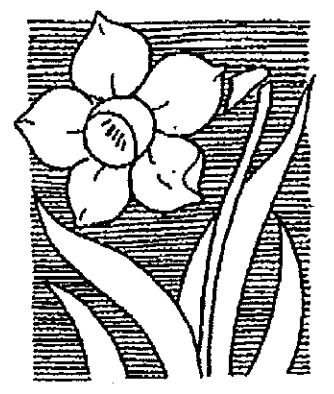
1月14日(日)

- 【特別賞】  
岩田 大武 くん
- 【高揚賞】  
岸村 暢大 くん(小1)  
大山 飛鳥 くん(小1)  
今井 亮介 くん(小3)  
岩田 華寿 紗さん(小4)  
貞本 奈津 子さん(小6)  
西村 幸 哉さん(小4)
- 【アイデア賞】  
今井 裕介 くん(小4)  
伊藤 夏美 さん(小6)  
沖 美 里さん(小1)



# 地区だより すすま

第64号  
平成13年2月15日  
須々石地区  
人口5,400人  
世帯数1,862世帯  
平成13年1月  
発行 須々石地区まちづくり推進協議会  
須々石公民館





# むかしむかし 須々万の里に

須々万の地にまつわるむかし話をいろいろ紹介してきましたが、いよいよ最終回となりました。そこで今回は平成九年の地域行事にもなった、沼城合戦にまつわる有名なお話でしめくりたいと思います。

## 沼をわたる女

今から四百年以上も前の沼城での合戦の話である。

毛利元就の軍は、山崎伊豆守をほろぼすと、沼城にせめよせた。元就は北から沼城を見下ろす緑山に、小早川隆景の一隊は南から日臨山に陣取り、南北から沼城をせめることにした。

沼城のような城はかんたんに落ちるだろうと思っていたが、せめてみるとなかなか落ちるようすもなく、さしもの毛利軍も手こずっていた。

山崎伊豆守は近くを流れる小辻川を東の山のせまいところでせきとめ、さうした城の南にある沼を広げて、毛利軍がせめよせられないようにしたのだ。低い土地は、一面の水びたしになり、ますますせめよむことがむずかしくなった。

ことに隆景の軍は、広がる沼のため、進むにも進めず、足止めをくらってしまいました。夏が秋となり、冬になると、小辻川の水もぐんと少なくなってきた。毛利軍は、それを待っていたかのようになり、いよいよ勝敗はつかず一年がたった。

春のある夜、沼城ではあかあかとあかりがともされ、酒盛りが開かれた。にぎやかな歌声が、沼の水をわたり、緑山にこだまし、元就や隆景の耳へも入ってきた。

「沼城はなんの酒盛りであろう。」  
「まだ酒があんなにあるのか。」  
と兵士たちの中には、こんなさうずがは城はなかなか落ちないだろうと話し合う者もでてきた。

「なんの、あの歌声はだましの戦法であろう。」  
と大声をあげる者もいる。毛利軍のさむぎをよそに、沼城からの歌声は、ますますにぎやかになっていった。

そのとき、ゆうゆうと沼をわたっていく一人の人がげがあつた。人がげは沼城の方へと進んでいく。  
「だれだ、あれは。」  
「女だ。」  
「敵か味方か。」

「両軍の兵士たちの目はいっせいにその女に集まった。女は、人の歩かすがたではなく、何かの化身を思わせるようなさぶりで先へ先へと静かにわたっていく。あたりは静まりかたまっていく。あたりは静まりかたまっていく。」

かえって物音一つ聞こえない。浅瀬をわたる水の音がびたりとやむ。その静けさを破るような、悲しそうな女の歌声が聞こえてきた。

恋う人は沼のかたよぬれぬれて、わたるゆれをほとがめたまうつな。  
(わたしのたいいな人は沼のむこうにいる。沼の水をみだにぬれながら沼をわたっていくわたしの心はさみしい。)

と、そのさびしそうな歌声は、沼の水をわたっていった。歌い終わった女は、ふたたびかすかな水音をたてながら沼をわたって始めた。沼をわたる女は、静かに見ていた。女はとうとう沼城へとわたっていった。

このようすをじっと見ていた隆景はそのふしぎな女のわたったところからせめよめば、沼城はきつと落とせるにちがいないと考えた。そこで用意しておいたすのこやむしろをすべに次つぎと沼にしくと、その上を通過して毛利軍は沼城にたれこんでいった。さしもの沼城もついに落ちた。

その沼城の名は、ちなんで現在小学校は沼城小学校と名づけられている。

※新装 山口の伝説 …… 山口県小学校教育研究会 国語部編より

## すすまにゃ 母親クラブも!

徳山市内のあちこちで お母さん同士の交流や勉強会など熱心な活動がされています。須々万でも子育て支援学級としていろいろな活動がありますが、大人同士もしっかりかかわり合おうと 現在 各種団体のお母さん方を中心に母親クラブの発足にむけ奔走中です。代表の松原さんから一言。

少年の事件が毎日のようにマスコミで報道されている昨今ですが、同じような子どもをもつ親として、又、いずれその年齢をむかえる子どもの親として、自分の子どもはそうあってほしくないと思うのは当然のことですが、「自分の子どもはいい子だから関係ない」と思っていますか? そういう親には自分中心の(自己中の)子どもしか育ちません。誰か100%の親はいません。親達がその欠けている部分をおぎないあって、みんなて子育てをしましょう。子育てに感心のある方、男女を問わずお待ちしております。

Tel 88-0001 公民館 または 88-2665 松原

### お知らせ

「男性クッキング教室」 2/24(土) 10:00~ 公民館 調理室  
講師: 食生活改善推進委員のみなさん

「人権コンサート」 3/1(木) 13:00~ 改善センター  
フォーク・シンガー おかい 治英氏

### ゆずって下さい!

幼稚園で毎年おむらつきをしています。いつも小学校にお借りしています。不用の料とうりがありましたら、ゆずっていただけると幸いです。よろしくお願ひします。 Tel 88-0243 幼稚園

編集後記 ~ お世話になりました ~  
• やってよかった朝市取材! いろいろ情報通になりました (M)  
• より須々万が身近に感じられて、いい経験になりました (S)  
• 地域の情報と制作中の会話での情報交換が楽しかった (H)  
• 地域の方々のふれあいが嬉しい2年間でした (T)  
• いろんな人にあたたかい言葉をかけてもらって感謝しています (I)  
おかげさまで無事2年すぎました。本当にたくさんの方によくしていただきありがとうございました。4月から新メンバーになります。これから、地区により、どうぞよろしく!!